

八王子^{はちおうじ} ^{ともだち} にほんごの会

学習者向け会報 No.39
2025年2月発行 広報部

日本には、さまざまな伝統的な儀式や、季節ごとの行事があります。また日本には四季があることで、多くの風習や行事に季節ごとの特色があります。今回の「ともだち39号」では、代表的な行事を簡単に説明します。皆さんはいくつの行事を知っていますか。寺子屋の仲間と日本の行事について話してみると、楽しいと思いますよ。

正月（1月1日～3日）

1月1日から3日までは三が日と呼ばれ、仕事をお休みして年の初めをお祝いします。正月には特別な料理を食べます。おせち料理という色々な種類の料理や、お雑煮というおもち（お米を蒸してつぶして固めたもの）を入れた汁を食べます。また年のはじめに神様に1年の無事をお願いする初もうでで多くの神社はとてこみます。子どもたちはお年玉という特別なおこづかいをみんなからもらえるので、お正月を楽しみに待っています。お正月は日本人にとっても大切な行事なのです。



おせち料理（いろいろな種類の料理をつめたもの）



八王子子安神社での初もうで（人がいっぱい）

せつぶん ころ 節分（2月3日頃）

節分とは、「季節を分ける」という意味です。一般的な節分は「立春（2月4日頃）の前日」を指します。季節の変わり目は、悪いものが家の中に入りやすいといわれています。それを退治するために、「鬼は外、福は内」と叫びながら、炒った大豆をまきます。また、鰯の頭を柵の枝に刺して玄関先に飾り、悪いものを追い払います。その年の縁起の良い方角を向いて恵方巻という巻き寿司を食べて病気にならないように祈る習慣もあります。



写真：photoAC <https://www.photo-ac.com/>

ひなまつ 雛祭り（3月3日）

ひな祭りは、毎年3月3日に行われる、約1000年の長い歴史を持つ女の子のための行事で、女の子が元気に育ち、幸せになるように願いを込めてひな人形を飾ります。ひな祭りには、ちらし寿司とハマグリという貝のスープ料理を食べてお祝いします。ひな人形の「ひな」とは、もともと小さくて可愛らしいものを表す言葉です。ひな人形にはたくさん種類があります。皆さんぜひ「ひな人形の写真」でネット検索してみてください。



写真：photoAC <https://www.photo-ac.com/>

ひがん ころ お彼岸（3月20日頃、9月23日頃）

お彼岸は春分・秋分の日に7日間、ご先祖さまや自然への感謝を行う仏教の行事です。彼岸は「さとりの」の世界を指します。この期間にはお墓参りをし、おはぎ・ぼたもちを供えます。昼と夜が等しいこの時期に、先祖を敬い自分を見直す機会とされています。写真は、お彼岸のときに、たくさんのご先祖さまに対して、供養を行う行事の写真です。



写真：会員提供

端午の節句（5月5日）

端午の節句は、男の子のお祝いです。こどもの日ともいいます。毎年5月5日にやります。男の子が生まれたことをお祝いして、健康に成長することを祈る行事です。

病気や悪いことから守るように、かぶとや五月人形を飾ります。ちまきや柏餅を食べます。菖蒲という草を入れたお風呂に入ります。

出世するように、鯉のぼりを飾ります。



写真：photoAC <https://www.photo-ac.com/>

七五三（11月15日頃）

七五三は、子供たちが健やかに成長することを願って行われる、お祝いの行事です。

女の子は3歳と7歳、男の子は3歳と5歳のときに、お祝いをします（地域によって少し違います）。毎年11月15日頃に行われることが多いです。

七五三の日は、神社に行って、子供たちの成長を神様に感謝します。神社ではお守りや千歳飴（お菓子）をもらったりします。

そして、写真のように着物や袴を着て写真を撮ったり、家族みんなで食事をしたりします。



写真：photoAC <https://www.photo-ac.com/>

大晦日（12月31日）

“大晦日”は一年の最後の大事な日です。

除夜の鐘は、108つの煩惱（災い）を祓うため、深夜0時を挟んでお寺で108回の鐘を鳴らします。

また、そばが細く長いことから、健康長寿などを願って、年越しそばという“そば”を食べます。

「家にこもり、新年の穀物に実りを、“歳神様”に夜通し祈のる」という“古い昔の風習”が由来です。



八王子市打越町 梅洞寺の鐘堂

写真：会員提供